

特集 | トライやる・ウィーク 2017



ゴールデンバレーゴルフ倶楽部
お客さまのゴルフクラブを運んでお見送り



重春・野村地区交流推進委員会
「みらいえ」の貸館窓口や管理業務を経験

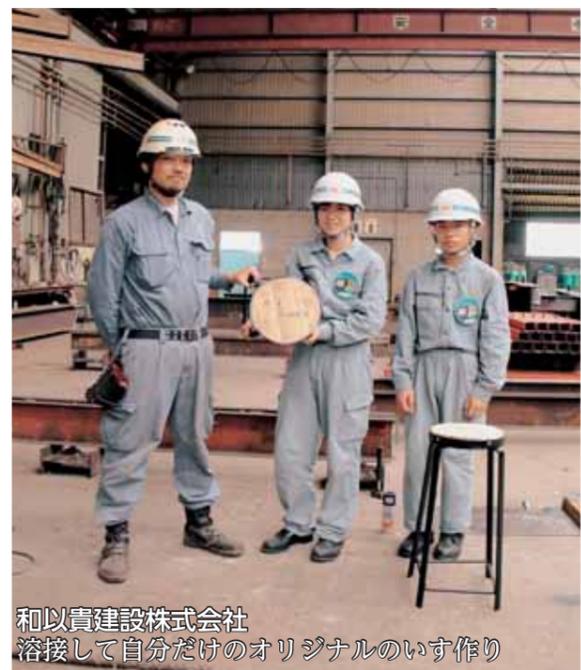


重春・野村地区交流推進委員会
「みらいえ」の来館者へパンやコーヒーを販売



▲永井慎太郎さん
(ゴールデンバレーゴルフ倶楽部)

「ポーター業務」と呼ばれる一連の接客業務を経験してもらいました。大きな声であいさつができていて、お客さまも喜んでおられました。子どもたちには、「トライやる・ウィーク」で感じた「気付き」を生かして、今後も学業に励んでほしいです。



和以貴建設株式会社
溶接して自分だけのオリジナルのいす作り



北はりま農産物直売所
店頭で使う花筒を洗い開店準備

特集 | トライやる・ウィーク 2017



ベルデ・ヴェール
ピザ生地作りを体験

「トライやる・ウィーク」は、今年で20回目になりました。この取り組みは、兵庫県で起きた大規模災害や事件をきっかけに、子どもたちが職場体験を通じて自分の生き方を見つけられるよう、平成10年に「心の教育」としてスタートしました。子どもたちは、1週間学校を離れて地域の中で職業体験を積み重ねます。期間中にさまざまな仕事を体験する中学生は、全く新しい環境や人間関係の中で、成功や失敗を経験しました。トライやる・ウィークは、職業体験によって、子どもたちが自身の感性や創造性を高め、自分なりの生き方を見つけることができるようになる狙いがあります。今年も、市内の中学2年生が109の事業所にお世話になりました。たくさんの方の経験を通して、社会のルールや厳しさ、働くことの楽しさを学び、奮闘する中学生の姿をサポートします。



■問合せ 学校教育課(市役所内線527)



▲松本亨・教育研究室長

子どもたちには、「トライやる・ウィーク」を通じて、地域の方とのつながりを大事にし、ふるさと西脇をもっと好きになってもらいたいと思います。そして、働くことの楽しさや大変さを体験することや、将来の方向性を見つけたり、また自分自身を見つめ直す機会にしてもらえればいいですね。

また、「トライやる・ウィーク」の期間中に、子どもたちは自分のお弁当を作りました。子どもたちにとって、事業所で仕事を体験するだけでなく、「自分のことは自分でする」ことも学ぶ大切な期間です。

特集 | トライやる・ウィーク 2017



篠田いちご園
イチゴの親苗を植え付け



▲篠田重一さん
(篠田農園代表)

子どもたちに経験してもらった苗づくりは、重要な作業になります。農業は地道な作業の連続。子どもたちが「楽しかった」と言ってくれて、私もうれしかったです。



西脇ロイヤルホテル
レストランで接客を体験



西脇警察署
署員から護身術を学ぶ



キリン堂黒田庄店
商品の陳列やレジをお手伝い



tamaki niime
糸切りをして商品の仕上げ

ローソン黒田庄大伏店
店内の掃除やレジの補助を経験



ピーターパン
パンを袋に詰めて陳列



▲折田友美さん
(ピーターパン)

子どもたちには、人気のパン作りや学校給食の搬出入を手伝ってもらいました。サービス業の基本は笑顔とあいさつ。経験したことを生かして、お客さまのことを考えたサービスができる人になってほしいですね。



▲松本真也さん
(ベルデ・ヴェール)

大きな声で礼儀正しい接客を心掛けるように教えました。子どもたちが大きな声で元気にあいさつする姿が印象に残りました。これからいろいろなことに興味を持って、好きと思える仕事を見つけてほしいですね。



西脇市茜が丘複合施設「みらいえ」
こどもプラザでの工作の準備



西脇市茜が丘複合施設「みらいえ」
こどもプラザで子どもたちと



西脇市図書館
貸し出す本にブックカバーを装丁